

科目名 (科目番号)	リハビリテーション 概論 (061251)	教員名 林 隆司他	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			林研究室	
授業概要	リハビリテーションを、医学、社会学などを包括した理念として捉えているが、リハビリテーション概論であることを認識してもらう。リハビリテーションが歴史的、地域的にどのように発展したかを考察することにより、リハビリテーションが多くの異業種を包括したリハビリテーションチームとして活動するチームアプローチであることを理解し、理学療法士が専門職としてチームの活動に貢献できる素地を形成する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	リハビリテーションとは	到達目標:リハビリテーションの概念・理学療法の概要を理解する。 学習内容:リハビリテーション・理学療法の歴史の変遷を学習する。				
	2	機能障害をもたらす 主な疾病と外傷	到達目標:病気と障害の全体像を理解する。 学習内容:障害および国際生活機能分類(ICF)を学習する。				
	3	人間活動とリハビリテーション	到達目標:ノーマライゼーション・QOLを意識したフィールドワークを理解する。 学習内容:人間活動と発達および理学療法士の使命・役割・臨床思考を学習する。				
	4	リハビリテーションの諸領域	到達目標:理学療法の対象領域が広がっていることを理解する。 学習内容:リハビリテーションの諸領域について学習する。				
	5	リハビリテーションの技術概要	到達目標:リハビリテーションの各種技術を理解する。 学習内容:リハビリテーション(理学療法士)を構成する各種技術の概要について学習する。				
	6	リハビリテーションの過程	到達目標:リハビリテーション(理学療法士)の必要性を理解する。 学習内容:評価とプログラム・リハビリテーションの流れ(理学療法過程)について学習する。				
	7	リハビリテーションの職能	到達目標:リハビリテーション(理学療法士)に関連する法律を理解する。 学習内容:リハビリテーション職能・リハビリテーションに関連する法律について学習する。				
	8	リハビリテーションを支える 社会保障制度	到達目標:社会保障制度・理学療法士に必要な管理運営について多面的に理解する。 学習内容:社会保障・理学療法士に必要な管理運営について学習する。				
	成績評価の方法・基準	期末試験(100%)にて評定とする。					
教科書	理学療法概論テキスト		細田多穂監修		南江堂		
参考図書	入門リハビリテーション概論		中村隆一・佐直信彦編		医歯薬出版		
教員からのメッセージ	理学療法士の役割や求められる使命を基本に講義します。また、それぞれの領域での理学療法士の仕事内容を理解できるようにしてください。授業の進行度合いによって授業内容を変更します。						